

# たんけん? / 新庄病院

しんじょうびょういん

番外編②  
冬への  
備え



新しい病院の建設工事が完成しました！

この「たんけん新庄病院」では、新病院の建物に関する『あれは何?』を探検し、あまり知られることの無い、建物に込められた想いや工夫にせまっていきたいと思います。

雪深い新庄の冬。新病院はどのような雪対策をしているのでしょうか？

## 【冬の吹込みに備えて】

正面玄関の出入口は、冬の雪や冷気の吹込み対策として風除室が二重になっています。

また出入りの多い正面玄関付近は床が暖められており、寒さ対策がとられています。



外側の風除室



内側の風除室

外側の風除室は、雪囲いと同じ役割を持っています。



カンちゃん

## 【冬に備える庇の工夫】



病室の庇を下から

さらに近づくと！

排気口



セーくん

庇の斜めは、雪の付きにくい角度になっています。

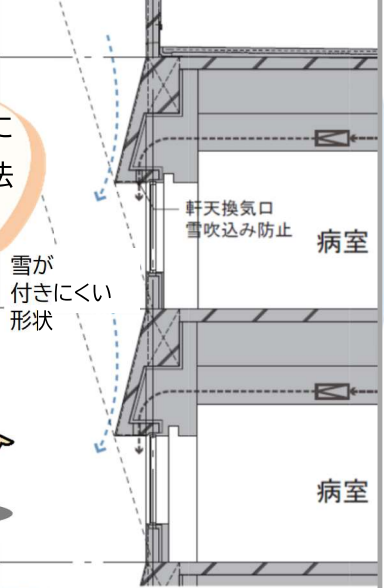
庇は夏の日射しが病室に入り込まないように寸法が計画されています。

雪国である新庄の冬は、軒先に雪庇が出来てしまうことや、高所からの落雪など、雪による様々な危険が想定されます。

新病院の外観で横のラインが特徴的な庇は、このような雪の危険に配慮し、雪が溜まりにくい形状となっています。

この形状を利用して庇の底に排気口を配置し、雪の吹込みにも備えているそうです。

夏至13:00の太陽高度



軒天換気口  
雪吹込み防止  
病室

病室

雪が付きにくい形状



コウくん

▶他にも雪への工夫はたくさんあるようです。  
次回 Vol.5 新病院の病室その①を探検します。

新病院の詳しい設計概要は  
病院ホームページをご覧ください